



インスピレーションになろう

# 国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

## THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日    ■例会日■ 毎・金曜日12時30分    ■例会場■ オークラ千葉ホテル  
 ■会長■ 五十嵐 博章    ■幹事■ 松尾 博之    ■会報委員長■ 普天間 操  
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2018-19年度

### 第2675回

2019年5月10日(金)点鐘12:30 《晴れ》

- ◆国家斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

#### ◆お客様紹介

◇米山奨学生 菽敏(ノミン)さん

#### ◆会長報告 五十嵐 博章会長

皆さんこんにちは。元号が平成から令和に変わり、今日は令和第1回目の例会となりました。連休中はいかがでしたでしょうか。みなさんの元気な顔を拝見できて嬉しく思います。

#### 《理事・委員長会議報告》

1. クラブ運営資金会計報告 承認される。
2. ニコニコボックス会計報告 承認される。  
※予算に対してニコニコが少し足りないの、何か良いことなどありましたら、ぜひご協力いただければと思います。
3. 入会候補者について
  - 岡野裕樹氏 承認される。
  - 稲葉隆文氏 承認される。
4. 退会届の件 吉田与一郎会員 承認される。
5. 台湾・博愛RCとの姉妹提携について 承認される。

#### ◆米山奨学生挨拶



**菽敏(ノミン)さん**  
 中国内モンゴル出身です。千葉大学・修士課程・人文科学専攻です。今後ともよろしくお願ひ致します。  
 (カウンセラー 大塚会員)

#### ◆ロータリー米山記念奨学会より感謝状伝達



《第7回米山功労者》

齋藤 昌雄会員

#### ◆委員会報告

**地区次年度社会奉仕委員長報告 (三神秀樹会員)**  
 4月20日の地区研修・協議会にて当クラブの社会奉仕活動をたくさん披露することができました。

**千葉氏紙芝居プロジェクトより (酒井秀大会員)**  
 6月8日(土)ポートタワーのところで紙芝居を演じたいと思います。参加できる方は、宜しくお願ひ致します。

#### ◆5月度会員誕生日祝・結婚記念日祝

- …誕生日祝い…  
水野浩利会員・橋口 徹会員・塩谷邦昭会員
- …結婚記念日…  
竹尾 白会員・三宅 廣会員・杉本峰康会員  
劉 亜斌会員・末吉淳子会員・五十嵐博章会員

#### ◆ニコニコボックス報告

**《五十嵐博章会長・松尾博之幹事》**  
 新緑に目を奪われる時節となりました。平成と令和をまたにかけた長期連休はいかがお過ごしでしたでしょうか？皆様にとって、長い連休でしたでしょうか。それとも短い連休でしたでしょうか。  
 さて本日より、新しい米山奨学生がきてくれました。菽敏(ノミン)さん、宜しくお願ひ致します。

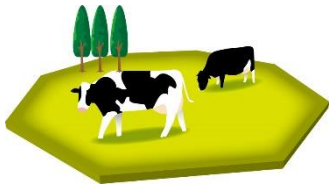
#### 《大塚 裕正会員》

本日より来年3月までお世話することになりました。米山奨学生のノミンさんです。川端康成を勉強している方です。宜しくお願ひ致します。

本日のニコニコボックス	3,000円	累計	287,170円
金の箱	0円	累計	20,449円
ポリオ・プラス	0円	累計	23,961円

## ◆出席報告 (会員数46名)

出席者数	欠席者数	ピシター	4/26 修正出席率
31名	15名	1名	60.00 %



## 本日の卓話

演題⇒『齋藤牧場のご紹介』  
卓話者⇒ 齋藤 昌雄会員

ご存知でしょうか。東京から100km圏内にある千葉県は生乳生産量が北海道、栃木、熊本に次いで全国第4位の酪農県なのです。

そもそも江戸時代中期(享保13年)徳川吉宗がインドの白牛3頭を安房の幕府直轄地の嶺岡牧に放牧し、この牛乳から『白牛酪』(バター)を作らせました。そして牛乳とバターを不老長寿の薬として用いたことが、日本酪農の発祥でした。しかし牛乳は特別な階層の食品でしたから、一般庶民に普及するのは、前田留吉(千葉県白子出身)がオランダ人より乳牛の飼育方法、牛乳の扱い方を学び、1863年に牛乳販売を始めてからでした。

明治時代に文明開化の波が押し寄せると牛乳の需要は高まるばかりで、この息吹は明治の青年たちを進歩的でトレンドな牛飼いにかりたてました。その一人アララギ派の歌人で『野菊の墓』の作者、伊藤左千夫(千葉県成東出身)も牛飼いにロマンを求めました。左千夫は、牛乳で財をなした後「牛飼がうたよむ時に世の中のあらたしき歌おほひに起こる」と高らかに歌い上げました。

こうして消費地に隣接した東京郊外で明治の牛飼いたちによる多頭飼育の牧場経営が始まりました。これが、現在東葛・千葉地区に都市近郊の専業牧場経営として受け継がれ首都圏消費地へ牛乳を送り出す拠点となっているのです。

私ども『齋藤牧場』も初代が郷土の先輩である左千夫を慕い、東京大島(江東区)で牛を飼い始めたのがスタートでした。その後、(株)明治乳業の創設時より取引を開始、明治乳業の五大牧場の一つとして関わりながら、現在まで取引は継続されています。

昭和8年、東京オリンピック誘致が決定した際に来日する欧米人による乳製品の需要に対応できる牧場経営を政府より要請されました。そこで郊外移転の方針が進められ、昭和12年に千葉県松戸市牧の原に1度目の移転をしました。松戸市で日支事変、大東亜戦争中の酪農の厳しい状況をくぐり抜けましたが、終戦後は、食料事情の劣悪な中で牛飼いを維持することは大変だったそうです。その状況の中、齋藤精一(初代)は、豆腐粕(おから)に目をつけました。牛の飼料に粕(カス)を飼料と



する粕酪農により、やっと低迷していた都市近郊酪農の活性化に成功しました。(この功績により精一翁は叙勲されています。)

やがて、戦後、急速な経済発展と政府の所得倍増計画が進むにつけ、千葉県北部地区は人口が激増しました。松戸市も団地の誘致開発が急激に進み、住宅と牧場の共存は次第に難しい状況となった際、当時の松戸市長「松本清」氏の懇請をうけ、再度牧場を移転することとなりました。牧場の跡地は現在松戸市牧の原という地名として残っています。

昭和47年(1972)、松戸市だけでなく千葉市の協力もあり千葉市若葉区中野町(現在の牧場地)に2度目の移転を完了しました。初代齋藤精一から100余年を経た現在、牧場経営は三代目に引き継がれ、専業牧場の伝統と誇りを受け継いでいます。

齋藤牧場では乳牛を約150頭飼育しており、搾乳が手絞りであった時代にいち早く搾乳機を取り入れ、さらには搾乳した牛乳をパイプで直接バルブクーラーに送って貯冷するという機械化を進めました。

年々、消費者の牛乳に対する関心が高まり、商品だけではなく生産地としての牧場に関心を持って見学にくる人も多くなったことから、牛乳の品質管理から牛舎や乳牛にいたるまでの徹底した衛生管理を行い、環境保全に努めるとともに、さらに乳牛の安全な飼料にもこだわり、消費者が納得でき、安心できる開放的な牧場経営に努めています。

近年、大問題となったBSEにおける食肉牛の安全性、またメーカーによる乳製品の品質内容の偽造等により酪農家への打撃は大きく、家畜排泄物取締法の施行も追い討ちをかけ、さらに牛乳の消費低迷がすすみ、蹄疫、東日本大震災の影響も暗い影を及ぼし、飼料の高騰等も経営を逼迫させる要因になっています。千葉県においてもやむなく廃業する酪農家が増えています。そのような厳しい状況のなか、酪農組合や畜産協会において酪農業の維持・存続、発展に努めています。



### 第2676回例会

日時⇒ 2019年5月17日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『～市場の変化を読み解き、戦略を打つ～  
なぜ、酒屋がプリンをつくっているのか。』

卓話者⇒ 株式会社ジビショウ

代表取締役 地引 克夫 様

### 第2677回例会

日時⇒ 2019年5月24日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『企業運営と法人会運営』

千葉市中央区倫理法人会

会長 石月 知明様

<会報当番：植松 省自>